

2008-05-12(月)

■レジ袋有料化

マイバッグを携帯し始めてはや数年、いらないレジ袋を断ることに抵抗がなくなった今でも、断るタイミングを逸してしまうことがたまにあります。

店員さんが商品を袋に入れる前に素早く声をかけることが面倒になってしまうんですね。後ろに行列が控えている混雑時などは、店員さんのリズムを変えることにも気が引けます。私がよく行く店では、レジ袋を断るという行為はまだ浸透していないように思います。

しかし、昨年の改正容器包装リサイクル法施行を背景に、レジ袋削減の動きは加速度を増しています。全国の自治体のうち、レジ袋の有料化または廃止について、自治体・市民団体・事業者間で自主協定が結ばれたか、自治体が有料化について協力要請を行っているところは、08年4月時点で20ヶ所に及ぶそうで、その後も増え続けています。

こうした町ぐるみの取り組みだと、有料化実施店が“他店に客が流れる”という不安を抱えなくてすむというだけでなく、消費者側も何のてらいもなくレジ袋を使用しないスタイルを実践できそうですね。

1年間で使われるとされるレジ袋305億枚の製造から焼却処分までには、原油42万kl(超大型石油タンカー2隻分)が使われる計算になるそうです。プラスチック製容器包装の全体量からみるとレジ袋は多い量ではありませんが、皆で削減に取り組む意義は大きいと考えます。

(おたゆ)